

す

く

す

く

81号



東京都済生会中央病院附属乳児院 2022年度 第4号 2023.1. 1 発行

東京都済生会中央病院附属乳児院 院長 岡尾 良一

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

さて、当院では昨年秋に3年越しの遠足が実現しました。以前は大型バスを貸し切りにして、千葉の牧場や都内の水族館に出かけたものですが、この2年間はなかなか難しい状況にありました。今回は、ホームごとに分散して上野動物園や葛西臨海公園へ行きました。いつも傍にいる職員と子どもたちが外出する形はとても自然ですし、文字通りアットホームな雰囲気です。子どもたちは終始リラックスして楽しんでおりましたので、そうした様子をキャッチした職員たちもまた、とても幸せな気持ちになったのではないのでしょうか。家庭的養育、小規模養育の良さを実感できる一日になったように思います。今後もこのような活動を増やしながら、子どもたちの生活に彩り豊かな体験の機会を提供できるよう努めてまいります。

また、クリスマスやお正月に際し、地域の皆様方からプレゼントのご寄付など、様々なご支援を頂いております。日頃、子どもたちが元気に笑顔で暮らせるのも、関係者の皆様のおかげと感謝しております。

今後とも、子どもたちへのご支援をよろしくお願いいたします。

副院長 石田 晃代

### 理 念

「済生の精神」に基づいた思いやりのある養育の提供を通じて社会に貢献します。  
（「済生の精神」とは、分け隔てなくあらゆる人々に医療・福祉を差し伸べることです）

### 基 本 方 針

#### 「子どもニーズ 子どもファースト」

私たちは、常に子どものことを第一に考え、子どもの目線に立ち、子どもの気持ちの代弁者として実践し、一人ひとりの子どもの最善の利益を追求します。

1. 子どもが安心できる環境の中で、個性を尊重し、愛情を注いで養育します。
2. 愛着関係を大切に、情緒豊かな子どもに育てていきます。
3. 感動や成功体験を通し、子どもの自立心を養っていきます。
4. 子どもの成長の喜びを保護者と共有し、親子関係を大切にしながら養育します。
5. 乳児院職員として、向上心や探究心を持ち、人間性・専門性を高めていきます。





## 運動会



10月20日に運動会が行われました。職員のピアノ伴奏に合わせて元気よく“はとぼっぽ体操”を踊った後は、幼児は大玉転がしと障害物競走を、乳児はふれあい遊びとハイハイ競争を行いました。それぞれ、たくさん体を動かしてお友だちと一緒に体操や競技を楽しみました。

入場した時には少し緊張した表情を見せていた子どもたちですが、メダル授与式では誇らしげな表情で受け取る姿があり、子どもたちの様々な表情や成長を見ることが出来た1日になりました。

保育士 梨澤 真子



## 遠足



穏やかな秋晴れの11月に上野動物園へ遠足に行きました。

当日はそれぞれおやつ入りのリュックを背負い、いつもと違う様子に緊張した表情も見られました。動物園に着くとこれまで絵本などで見てきた動物たちが目の前に現れ、驚く子や、近づいていく子、慣れないバスで早くも寝ている子など、様々な姿が見られました。

食事中は子どもから「キリン大きかったね」「動物さんリンゴとキャベツ食べていたね」と思い思いのエピソードを話してくれました。

興味を持った動物はそれぞれ違う中、職員とゆっくり見て過ごし、新しい経験をすることが出来たことで子どもも大人も笑顔あふれる時間を過ごし、素敵な思い出が出来ました。

保育士 西條 小百合



## 新入職員紹介



子どもたちに寄り添いながら、毎日を健康で元気に過ごすことが出来るように関わっていきたいです。  
(看護師)



子どもたちが笑顔で溢れる毎日を過ごすことが出来るような保育を行っていきたいです。  
(保育士)

# 日常の様子

各居室の子どもたちの日々のエピソードをお届けします。

## さくら



さくらの子どもたちはお歌が大好きです。大人が「おおきなくりのきのしたで～」と腕を大きく上げて歌い始めると、伝い歩きから1歩が出たばかりのAちゃんとBくんは両手をあげてニコニコ。寝返りのできるCちゃんやずり這いの上手なDちゃんは、両腕で身体を支えて腰をフリフリ。まだ首がすわっていないEくんは、表情がふわりと緩んでいきます。



保育士 樋口 麻友子

## たんぽぽ



Aくんはお散歩の公園に着くと一面落ち葉が広がる場所へ一目散に向かいます。赤い葉っぱをブーケのように集めて「みてみて」「どうぞ」と職員に見せてくれます。それをぎゅっと握りしめて公園内を散策します。

見て触れて、外遊びならではの季節を感じる様々な発見をしながら、寒さに負けず元気に遊んでいます。

保育士 内田 万梨花



## ひまわり



落ち葉が増えて秋を感じ始めた頃、おやつに柿を食べました。1年ぶりの子もいれば、初めて食べる子もいます。日頃から果物を好む子は「柔らかくて甘いかな」の声掛けをきっかけにおかわりするほど食べ、初めてのものに戸惑いやすい子はその日はペロッとなめて様子を見ていました。

秋を感じながら、いろいろな姿が見られたひと時でした。

保育士 照井 美紀



## 栄養室だより

栄養管理室では季節やイベントに合わせて、季節を感じられるような行事食を提供しています。先日は、サンドイッチでお弁当を作り、院庭でピクニックを体験してもらいました。普段あまり食べる機会のないサンドイッチでしたが、目で見ても楽しめるように彩りも考え、ピクニック気分を味わってもらえたかなと思います。

日々の献立の中でもハロウィーンの日には、オバケ型にご飯を盛り付け提供しました。栄養管理室では今後も、子どもたちに様々な食体験を提供し、食べることの楽しさを伝えていけるよう工夫をしたいと思います。

管理栄養士 岡本 来海



## コラム リハビリを取り入れた遊び方

普段の遊びの中でリハビリを行うには、2つ考えるとよいと思います。

まず1つは、筋肉のストレッチと関節の運動です。座位や仰向けで、手・足を延ばしたり、身体をねじったりして、筋肉や関節がよく動くように体操をします。しなやかな筋肉と関節が、動作をスムーズにするのに役立ちます。2つ目は動作の練習で、いろいろ姿勢や動きをしてもらいます。斜面や段差に立つ、または、狭い所や少し高い所に立つなどの姿勢は、身体の感覚が良くなります。また、走る止まるを繰り返す、その場で立ってクルクル回る、小さい円を描くように走る、連続のジャンプなどで、身体のコントロールが良くなります。

嫌がらないように誘って、大人も一緒に笑ったり歌を歌ったりしながら楽しく行うことを意識しています。

理学療法士 新井 保久



芝ロータリークラブ様よりクリスマスプレゼントのご寄付をいただきました。



ユニクロ様より衣類のご寄付をいただき、お買い物ごっこを楽しみました。



### 【0～3 歳児の育児にお困りの方へ】

当院では育児相談を平日 9～16 時に受け付けています。 担当 看護師長 小泉

### 【寄付金について】

当院では子どもたちの養育環境整備のため寄付金を募っています。 担当 事務 竹田

上記について詳しくは右記までご連絡ください。 TEL 03-3451-8289 (直通)

「すくすく 第 81 号」2023.1.1 発行

〈発行人〉 岡尾 良一

〈編集委員〉 小泉 菜穂子 前田 朋子 栗野 桃子